



2022年5月12日

各位

会社名 株式会社リログループ  
代表者名 代表取締役CEO 中村 謙一  
(コード: 8876 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 CFO 門田 康  
(TEL 03-5312-8704)

## 通期業績予想と実績の差異および剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期の通期連結業績予想と実績値に差異が生じたこと、また、2022年5月12日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想と実績の差異について

##### (1) 2022年3月期通期連結業績予想と実績値との修正 (2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 165,000	百万円 17,000	百万円 19,000	百万円 11,400	円 銭 74.75
実績値 (B)	156,571	18,505	20,198	15,644	102.79
増減額 (B-A)	△8,428	1,505	1,198	4,245	
増減率 (%)	△5.1	8.9	6.3	37.2	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	156,071	12,530	13,438	8,367	55.35

##### (2) 差異の理由

当期は、借上社宅管理事業や賃貸管理事業における管理戸数や福利厚生事業における会員数などのストック基盤が堅調に積み上がったほか、ホテル運営や不動産仲介などフロー収益も伸張したことなど、当社グループの各事業が順調に推移した結果、2022年3月期の通期連結業績予想値から増益となりました。

また、2022年5月6日付で公表した「連結子会社の異動(株式譲渡)およびグローバル・リロケーション事業の共同経営開始に関するお知らせ」のとおり、BGRSグループの株式を譲渡するとともにグローバル・リロケーション事業の共同経営を開始する旨の決議をしたことに伴う税効果会計の影響によって、親会社の所有者に帰属する当期利益が期初予想を大きく上回る結果となりました。

## 2. 剰余金の配当について

### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月13日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	2022年3月31日	2021年3月31日
1株当たり配当金	29円00銭	22円00銭	19円00銭
配当金総額	4,435百万円	—	2,874百万円
効力発生日	2022年6月27日	—	2021年6月25日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 理由

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つとして捉え、30%前後の配当性向を目安に連結業績に連動した配当とすることを基本方針としております。加えて、一過性の特殊要因による影響を必要に応じて調整することで、安定的な利益還元を図ってまいります。

以上の方針に基づき、当期の業績が期初予想を上回ったことから、前回の配当予想に1株当たり7円増額し、1株当たり29円とすることといたしました。

### (参考) 年間配当金の内訳

基準日	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	29円00銭	29円00銭
前期実績	0円00銭	19円00銭	19円00銭

以上